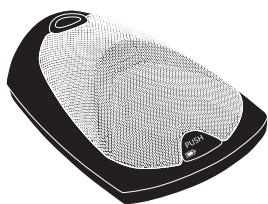
MX690 MX890

MX890ワイヤレスデスクトップベース

MX405、MX410、MX415グースネックマイクロホン用Shure MX890デスクトップベースは、企業会議室や柔軟なマイクロホン設定が必要な場所でケーブルを使用しない設置を実現します。MX415ミニグースネックマイクロホンは、会議室や、外観が重要な場所に適しています。MX890は518～937 MHz帯域内で動作し、Shure SLXワイヤレスシステムに対応します。

MX690ワイヤレスバウンダリーマイクロホン

Shure MX690マイクロホンは、フレキシブルな機器構成を必要とする会議室などの用途において、ケーブルなしの設置ができます。MX690は518～937 MHz帯域内で作動し、Shure SLXワイヤレスシステムに対応します。

機能

- スタイリッシュなロープロファイル設計
- 周波数アジャイル型マイクロプロセッサ制御送信機
- SLX受信機へのIRリンクで周波数の自動同期化
- プログラム可能な周波数グループ/チャンネル表示
- プログラム可能なミュート機能
- 単三電池2個で作動
- すべてのShure SLXワイヤレスシステムに対応
- MX890は、Shure MX405、MX410、MX-415ミニグースネックマイクロホンをサポート
- Commshield®テクノロジーがRF干渉から保護

配置方法

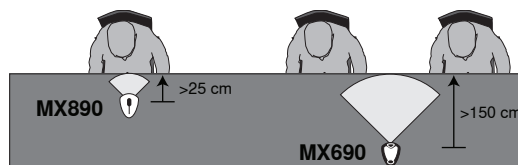
MX890マイクロホンの設置

MX890はテーブルの端から25 cm以内に置いてください。マイクロホンを話者に向け、ラウドスピーカーやノイズ源には向けないでください。話者1人につき1本のマイクロホンを使用してください。カーディオイド型カートリッジでのピックアップアングルは–3 dBで130度です。スーパーカーディオイド型カートリッジでのピックアップアングルは–3 dBで115度です。

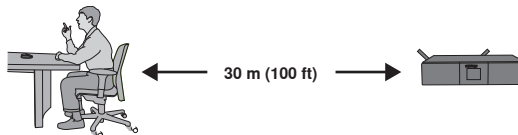
注記：RF干渉を最小限に抑えるため、送信機間の距離は最低0.3 mを維持してください。干渉が起きる場合は、送信機間の距離を離すか、チャンネルを変更してください。

MX690マイクロホンの設置

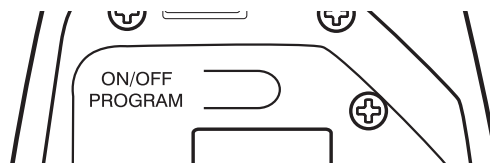
MX690は話者から1.5 m以内に置いてください。マイクロホンを話者に向け、ラウドスピーカーやノイズ源には向けないでください。話者2人につき1本のマイクロホンを使用してください。カーディオイド型カートリッジでのピックアップアングルは–3 dBで130度です。

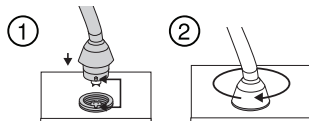
注記：RF干渉を最小限に抑えるため、距離は最低0.3 mを維持してください。

受信機

受信機は送信機から見通せる場所に置いてください。受信機は金属製の障害物や反射面の後ろに置かないでください。

詳細については、SLX Wireless System User Guide（SLXワイヤレスシステム取扱説明書）を参照するか、www.shure.comをご覧ください。

電源のオン/オフ

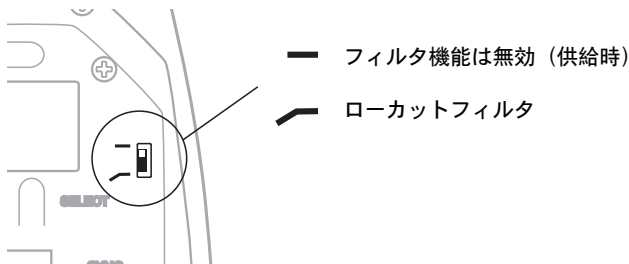
1. 電池ドアを開いた状態で、ON/OFFボタンを約2秒間長押しします。LCD画面が点灯したらボタンを離します。
2. 送信機をオフにするには、ON/OFFボタンを約2秒間長押しします。LCD画面が無表示のときにボタンを離します。マイクロホン外側のLEDも暗くなります。

注記：電池コンパートメントを開けずに送信機をオンにするには、電池ドアのプラスチックON/OFFを約2秒間押してから離します。

MX890接続グースネック

1. マイクロホンフランジのピンをデスクトップマイクベースの溝に合わせます。
2. グースネックをデスクトップマイクベースに挿入し、グースネックスリーブを右に回して固定します。

ローカットフィルタ

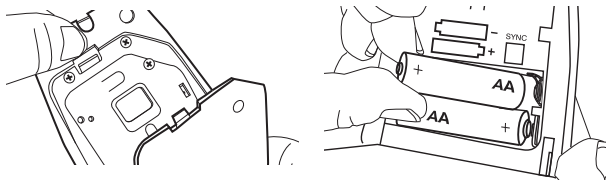
ローカットフィルタは150 Hz未満の周波数をオクターブ当たり6 dBずつ減衰します。

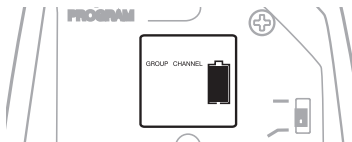
27JA16692 (Rev. 3)

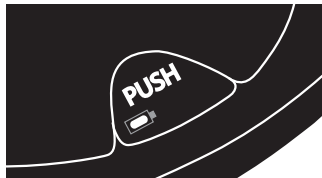
Printed in U.S.A.

電池

取付方法

1. 図のように電池コンパートメントを開けます。
2. 2本の1.5 V単三乾電池を挿入します。プラス端子とマイナス端子を正しい方向に向けてください。

注記：アルカリ電池は最長8時間使用できます。充電式の炭素亜鉛電池や塩化亜鉛電池を使用した場合、作動時間は短くなります。

電力計

LCDの電力計は電池残量を示します。

電池残量インジケーター

赤色が点灯：電池残量が低下。速やかに電池を交換してください。
赤色が点滅：電池切れ。電池を入れ替えないと送信機は作動しません。

Mute（ミュート）ボタン

ミュートボタンはトグル式またはモメンタリ式に設定できます。

トグル（供給時）

PUSHボタンでマイクロホンのアクティブ状態とミュート状態を切り換えます。

注記：マイクロホンはアクティブ状態でいつも電源が入ります。

モメンタリ

モメンタリ操作には2種類あります。

押してミュート：ボタンを押している時だけマイクロホンはミュートされます。
押して話す：ボタンを押している時だけマイクロホンはアクティブになります。

トグルおよびモメンタリ操作の切替：

PUSHボタンを押したままでSELECTボタンを押します。（マイクロホンをテストして変更を確認してください。）

Hold

「押して話す」および「押してミュート」の切替：

1. ボタンをモメンタリ操作に設定します。
2. SELECTボタンを押したままでPUSHボタンを押します。

Hold

ミュートインジケーター

MX890

デスクトップマイクベースはグースネックマイクロホンLEDを点灯させ、マイクロホンのアクティブ状態またはミュート状態を示します。次の表をご参照ください。

MX890ステータスインジケーター

マイクロホンの状態	MX405 / MX410インジケーター	MX405R / MX410Rライトリング
アクティブ	緑色	赤
ミュート	赤 / 緑色の点滅*	オフ / 点滅*

オフと点滅を切り替えるには、PUSHとON/OFFを同時に押します。

MX690

マイクロホン上部の2色のLCDは、マイクロホンのアクティブ状態またはミュート状態を示します。

ミュート時、LEDが点滅するよう設定することもできます。

MX890ステータスインジケーター

表示モード	ステータスインジケーター
点灯状態（供給時）	アクティブ = 緑色
	ミュート = 赤色
点滅状態	アクティブ = 緑色
	ミュート = 緑色の点滅

United States, Canada, Latin America, Caribbean:
Shure Incorporated
5800 West Touhy Avenue
Niles, IL 60714-4608 USA
Phone: 847-600-2000
Fax: 847-600-1212 (USA)
Fax: 847-600-6446
Email: info@shure.com

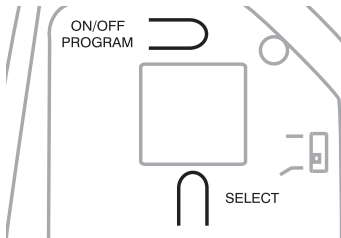
Europe, Middle East, Africa:
Shure Europe GmbH
Jakob-Dieffenbacher-Str. 12,
75031 Eppingen, Germany
Phone: 49-7262-92490
Fax: 49-7262-9249114
Email: info@shure.de

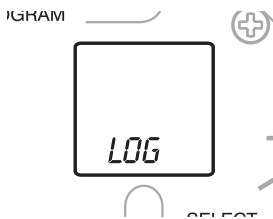
Asia, Pacific:
Shure Asia Limited
22/F, 625 King's Road
North Point, Island East
Hong Kong
Phone: 852-2893-4290
Fax: 852-2893-4055
Email: info@shure.com.hk

www.shure.com

設定のロック

ON/OFFとSELECTを同時に押し、送信機の設定をロックまたはロック解除します。ロックした場合、現在の設定を手動で変更することはできません。

注記：送信機設定をロックしても、IR周波数同期化またはハイパス/ローカットフィルタ機能は無効になりません。

ロジックモード

ロジック可能受信機と併用するには、自動同期化を行う必要があります。同期化中、LCDに「log」が点滅します。いったんロジックモードになると、電源を入れるとLCDにlogが点滅します。

周波数自動同期化

1. 全ての送信機の電源を切ります。
2. 最初の送信機から始めます。電池カバーを開き電源を入れます。
3. 最初の送信機から始めます。電池カバーを開き電源を入れます。
4. IRセンサーを最初の受信機のIRポートに向けます。送信機は受信機から15cm以内の場所にしてください。受信機のSYNCボタンを押したままにしてグループおよびチャンネルのデータを送信機に送信します。プログラムが完了したら、送信機の赤色LEDの点滅が止まります。
5. 最初の送信機の電源を切り、次の送信機と受信機のペアを同期化します。

手動による周波数同期化

1. 送信機のSELECTボタンを押し続けて希望のグループ番号を表示させます。
2. SELECTを再び押し、希望のチャンネル番号が表示されたら放します。

ベストパフォーマンスのためのヒント

- 送信機と受信機アンテナをいつも見通せるようにしておきます。
- 送信機は金属面に置かないでください。
- ノート型パソコンなどの妨害物は、マイクロホン使用中にマイクロホンの前に置かないでください。
- 必ずShure SLX4Lワイヤレス受信機を使用してください。

トラブルシューティング

SLXワイヤレスシステムに問題が起きた場合は次を実行してください。

- 送信機および受信機とも電源が入っていることを確認してください。
- 電池LEDが赤色になっていたら電池を交換してください。
- 送信機と受信機の各ペアのグループ/チャンネル設定が同一であることを確認してください。
- 送信機と受信機の間が遮られないようにしてください。
- 必要であれば受信機の位置を変えるか、送信機と受信機の間の距離を短縮してください。
- コンピュータや照明機器のようなRF干渉源を付近から取り除いてください。
- 送信機の0.3 m以内にある金属物質を取り除いてください。

注記：トラブルシューティングの全手順については、SLX Wireless System User Guide (SLXワイヤレスシステム取扱説明書)をご参照ください。

周波数選択

Shure は、特定の国や地理的地域区の行政規制に合わせて周波数帯域を選択できるワイヤレスシステムを提供しています。国や地域の規制は、さまざまなワイヤレス装置同士の無線周波 (RF) 干渉を制限し、テレビや緊急放送などの地域の公共通信チャンネルとの混信を防ぐためのものです。

このシステムの周波数帯域範囲は、受信機と送信機に記載されています。(例えば「H4 518-578 MHz」など。)

お使いの地域での周波数帯域に関する情報は、代理店にご相談いただくか、またはShureまでお問い合わせください。詳細はwww.shure.comにも掲載されています。

ライセンスについて

許可免許： 本機器操作の際、行政上の認可免許が特定地域で要求される場合があります。考えられる必要条件については国内当局にお問い合わせください。本機器の変更・改造は、Shure Incorporated によって書面で認可されたものを除き、装置の使用の権限を無効にする場合があります。Shureワイヤレスマイクロホン装置のライセンス獲得は使用者の責任であり、ライセンス取得に関しては使用者の分類とアプリケーション、選択周波数によって異なります。適正な許可免許に関する情報を得るために、また標準とは異なる周波数を選択する場合は前もって、必ず適切な通信監督機関にお問い合わせください。

認証

FCCパート74認証。

カナダにおいて RSS-123 および RSS-102 により IC 認可。

FCC: DD4MX890. **IC:** 616A-MX890.

本製品は、関連するすべての欧州指令の基本的要件を満たし、CEマークに適合しています。

CE適合宣言書は以下より入手可能です:www.shure.com/europe/compliance

ヨーロッパ認可代理店:
Shure Europe GmbH
ヨーロッパ、中東、アフリカ地区本部：
部門:EMEA承認
Jakob-Dieffenbacher-Str. 12
75031 Eppingen, Germany
Tel: 49-7262-92 49 0
Fax: 49-7262-92 49 11 4
Eメール： EMEAsupport@shure.de

仕様

到達距離

見通し線上の配置にて

30 m (100 ft)

注:実際の到達距離は、無線信号の吸収や反射、干渉により左右されます。

周波数変動

±10 ppm

変調

FM, 45 kHz最大偏差

使用電源

2 LR6 単三電池, 1.5 V, アルカリ乾電池

消費電力

@3 V

ディスプレイ・バックライトがオン	220 mA, ±30 mA
ディスプレイ・バックライトがオフ	175 mA, ±30 mA

消費電力 (X4, X7)

@3 V

ディスプレイ・バックライトがオン	245 mA, ±30 mA
ディスプレイ・バックライトがオフ	200 mA, ±30 mA

電池寿命

>8 時間 (アルカリ乾電池)

動作温度範囲

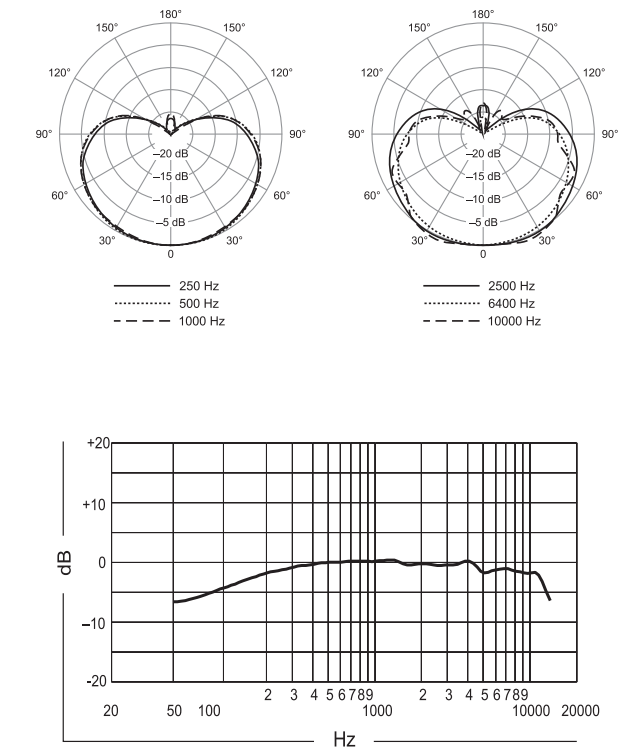
-18°C (0°F) ～ +57°C (135°F)

注:電池特性によりこの範囲は限定される場合があります。

寸法

43 mm x 87 mm x 148 mm (高さ×幅×奥行き)

質量

	MX690	MX890
本体	319 g (11.2 オンス)	312 g (11 オンス)
パッケージ込み	516 g (18.2 オンス)	530 g (18.7 オンス)

周波数帯域および送信機出力

帯 域	範 囲	送信機出力
G4	470 ～ 494 MHz	30 mW
G5	494 ～ 518 MHz	30 mW
H5	518 ～ 542 MHz	30 mW
J3	572 ～ 596 MHz	30 mW
L4	638 ～ 662 MHz	30 mW
P4	702 ～ 726 MHz	30 mW
Q4	740 ～ 752 MHz	10 mW
R13	794 ～ 806 MHz	20 mW
R5	800 ～ 820 MHz	20 mW
JB	806 ～ 810 MHz	10 mW
S6	838 ～ 865 MHz	10 mW
X4	925 ～ 932 MHz	10 mW
X7	925 ～ 937.5 MHz	10 mW

安全のための重要注意事項

1. この説明書をお読みください。
2. この説明書を保管しておいてください。
3. 警告事項すべてに留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この製品は水の近くで使用しないでください。
6. 掃除は、乾いた布でから拭きするだけにしてください。
7. 通風口を塞がないようにしてください。十分な換気ができるよう余裕を持たせ、メーカーの指示に従って設置してください。
8. 炎、ラジエーターや暖房送風口、ストーブ、その他、熱を発生する機器 (アンプなど) の近くには設置しないでください。炎が出る物を製品の上に置かないでください。
9. 有極プラグやアース付きプラグは安全のために用いられています。無効にしないようにしてください。有極プラグは、2本のブレードのうち一方が幅広になっています。アース付きプラグは、2本のブレードの他に、3本目のアースの棒がついています。幅広のブレードや3本目の棒は、安全のためのものです。これらのプラグがコンセントの差し込み口に合わない場合は、電気工事業者に相談し、コンセントを交換してもらってください。
10. 電源コードは、特にプラグ差し込み部分、延長コード、機器から出ている部分において、引っかかって抜けたり挟まれたりしないように保護してください。
11. アタッチメントや付属品は、必ずメーカー指定のものをご利用ください。
12. カートやスタンド、三脚、ブラケット、テーブル等は、メーカー指定のものか、この装置用に販売されているものを必ずご利用ください。カートに装置を載せて動かす際は、つっかけて怪我をしないよう注意してください。
13. 雷を伴う嵐の際、または長期間使用しない場合は、プラグをコンセントから抜いてください。
14. 整備の際は、資格のある整備担当者に必ずご相談ください。電源コードやプラグの損傷、液体や異物が装置内に入り込んだ場合、装置が雨や湿気に曝された場合、正常に作動しない場合、装置を落とした場合など、装置が何らかの状態で損傷した場合は、整備が必要です。
15. 水滴や水しぶきに曝さないでください。液体の入った花瓶などを装置の上に置かないでください。
16. MAINSプラグまたはアプライアンスカップラーが使用できる状態にしておいてください。
17. 装置の空気伝播音は70 dB (A) を超えません。
18. クラスI構造の装置は保護接地接続のある主電源の壁コンセントに接続してください。
19. 火災や感電の危険を避けるため、本機器は雨や湿気のある場所にさらさないでください。
20. 本製品の改造は試みないでください。改造した場合、怪我や製品故障の原因となることがあります。
21. 本製品は指定された動作温度範囲内で使用してください。

この記号は、この装置内に感電の危険性のある高電圧があることを示します。

この記号は、重要な操作・メンテナンスの説明が装置添付の文書に記載されていることを示します。

警告: この装置内には、生命に危険な高電圧が存在します。内部には、ユーザーが整備できる部品はありません。整備の際は、資格のある整備担当者に必ずご相談ください。使用電圧の工場出荷時設定が変更された場合は、安全保証は適用されません。